



オペラの世界

中村孝義

大阪音楽大学理事 名譽教授

好奇心を感動に! 伝統から新たな発見を

長い歴史をもつ西洋のオペラ、日本の歌舞伎、そして地元・近江の祭礼…。いずれも伝統によって培われた様式美、人間のもつ普遍的なテーマがあり、新たな発見に驚かされることばかり。今秋開講するKEIBUN文化講座の新講座を通して、伝統の普遍性とその魅力にふれてみよう!

フランス・パリのオペラ座

歌舞伎の魅力

田口章子

京都造形芸術大学教授



京都・四条にある出雲の阿国像



近江の祭礼

中島誠一

長浜市曳山博物館館長

KEIBUN文化講座特集

Enjoy!+α

Culture and Study

ほんの少しの好奇心と最初の一歩を踏み出す勇気一
扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

club keibun 5

2016 MAY vol.404

CONTENTS

Enjoy!+α KEIBUN文化講座特集
好奇心を感動に!
伝統から新たな発見を 01

KEIBUN文化講座 新講師interview
長浜市曳山博物館館長 中島誠一
京都造形芸術大学教授 田口章子
大阪音楽大学理事・名誉教授 中村孝義

WALK ON 伝説と歴史の舞台を歩く 06
日野城跡 彌生郡日野町

KEIBUN友の会会員特典のご案内 07
イベント/シネマ/アート/スポーツ/
ゴルフ/旅行/レジャー/健康/
カルチャー/グルメ

プレゼント/Reader's Letters 25

Mother Lake 2016年6月4日(土)滋賀県先行公開

映画「Mother Lake」

映画「マザーレイク」がご鑑賞いただける
お得なチケットを2枚セットで販売!

▶詳しくは16ページをご覧ください



今月の表紙

あなたはわかりますか?
謎 解き×世界遺産

童話の世界を冒険!
カラフルな街を歩く

古都ゲアナフアとその銀鉱群
(メキシコ・1988年登録)



ゲアナフア市街

山の傾斜地にカラフルな家々が建ち並び、まるで童話の世界に入り込んだ心地してくれるのが、メキシコのゲアナフアの街並み。一説ではゲアナフアは先住民族の言葉で「カエルの場所」を意味しているとか。かつてスペイン植民地時代には銀鉱山で栄え、コロニアル様式の古い建物が多く残っている。複雑な狭い路地を冒険気分ですべて歩いてみたい。

長浜曳山まつりの子ども歌舞伎

天津会場

Interview 新講師に聞く

長浜会場



京都造形芸術大学教授 田口章子さん

今までの歌舞伎解説とはひと味もふた味も違った新鮮な切り口で、生き生きとした歌舞伎の魅力が楽しめる新講座「すばらしい日本の伝統芸能」歌舞伎の魅力にふれるが9月からスタートする。講師は、京都造形芸術大学で15年にわたって開催されている公開講座「日本芸能史」の企画・コーディネーターを務める田口章子さん。気鋭の歌舞伎研究者であると同時に、小学校2年生の時に初めて観た歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」の勘平腹切の場

面に魅了されて以来、時間が許す限り劇場に通い続けている無類の歌舞伎好きでもある。まさに伝統芸能の「目利き」だ。 「この講座は、歌舞伎ファンはもちろん、今まで歌舞伎を観たことがなくとも、十分楽しめるように考えていますから」と茶目づらぶりに話す田口さん。チャームキングな笑顔にぐっと引きこまれ、歌舞伎への並々ならぬ愛情と研究者ならではの冷静な分析を聞くうちに歌舞伎の世界がぐんぐん身近に感じられてくる。

日本人のDNAに刻まれた情感 歌舞伎をもっと楽しむ!

例えば、現在の歌舞伎の象徴となつている隈取りや派手な荒事の演技が成立したのは、共通語が江戸の地になく元禄時代に、セリフが分からなくても見た目で表現するためという指摘に驚きつつ、時代背景を交えての解説をじっくり聞けばなるほどと深く納得。講座ではさらに文楽との関わりや「心中もの」が人気を博した社会背景など、さまざまな角度から歌舞伎の魅力に光を当てていく。中には「近松門左衛門と三谷幸喜」というユニークなテーマも! 「三谷幸喜が近松門左衛門に寄り添いながら書いた文楽「其礼成心

中」は文楽のファンにも好評でした。それは、三谷文楽が伝統的な日本文化の発想法に支えられているからなんです」と新たな視点で近松門左衛門の豊かな文学性を静かな中にも熱を込めて語る。田口さんの日本文化への造詣と伝統芸能に対する深い愛情が垣間見える。 「江戸時代の人たちはどんな価値観で生きていたのか、歌舞伎が教えてくれます。悲しみを喜びも今の私たちと共通する思いがあること、さらに日本文化と日本人について一緒に考えていきたいと思います」

※人形浄瑠璃、大夫・三味線・人形が一体となった伝統芸能。

湖 国の春を彩る「長浜曳山まつり」。今秋、ユネスコ無形文化遺産への登録が有力視されている。「曳山まつりをはじめ、滋賀県の湖北や湖南、甲賀地域には歴史ある伝統行事が今も多く残されています」と語るのは、秋の新講座「近江の祭り」を探る」で講師を務める長浜市曳山博物館館長の中島誠一さん。

今回の講座では雨乞い信仰、オコナイ、そして曳山まつりを取り上げる。「滋賀県で多くの祭り行事が伝承されてきた理由のひとつに、滋賀県人の合理的思考が挙げられます。例えば、長浜曳山まつりでは12基ある曳山を毎年4基ずつ3年に一度交代でまわし、また、子ども歌舞伎の役者が不足する場合は地区外からも選ぶなど、状況に応じて柔軟に対応してきたことが大きい」 長崎県出身の中島さんは、西日本を中心としてフィールドワークを続ける中で、滋賀県の祭りのユニークさ、滋賀県人の人情の温かさに魅せられたという。「毎年同じことを

38-04 近江の祭り行事を探る

講師 / 長浜市曳山博物館館長 中島誠一 会場 / 長浜市曳山博物館

Table with 2 columns: 講座内容, 各13:30~15:00. Rows include dates and topics like '近江の雨乞い信仰・太鼓踊り'.

中島誠一(なかじま・せいいち)

1950年長崎県生まれ。佛教大学院文学研究科(日本史)修士課程修了。長浜城歴史博物館館長を経て現職。専門は日本民俗学。西日本のオコナイ、滋賀の民俗芸能、祭りなどを研究。主な著書に「近江の祭りを歩く」「川津のオコナイ」(以上サンライズ出版)「オコナイ 湖国祭りのかたち」(INAX BOOKLET-共著)など。



伝統行事の意味をひも解く

奥深い「近江の文化力」を体感してほしい

繰り返す農耕文化の性格の表れでしょう。代々受け継がれているもの、その意味までは伝わっていない行事を止める気持が悪いと続ける。雨乞いの祭りやオコナイも同様です。現在、私たちが目にする雨乞いの祭りは、雨が降った後に神へ返礼する踊りや、また、オコナイは年の初めに五穀豊穡と村内安全を祈願する神聖な儀式だが、そこは実にさまざま祈りのかたちがあり、村ごとに驚くほど差異がある。それだけの村における文化レベル、独立性の高さを改めて感じていただければ

と思います」 講座ではビジュアルを多く取り入れながら、それぞれの地域の行事のあり方を紹介する予定。日常に即した身近な伝統行事が題材だけに、新しい新たな発見や疑問が生まれることになるだろう。 「わからない!」と思っただけのことこそ本望(笑)。ものごとには意味があり、なぜかのようになったのかを考えることで、先人の自然に対する畏敬を共有していただきたい。私を交えて皆さんと意見が交流できる講座になればと思っています」



長浜市曳山博物館館長 中島誠一さん

38-01 すばらしい日本の伝統芸能 ~歌舞伎の魅力にふれる

講師 / 京都造形芸術大学教授 田口章子 会場 / 旧大津公会堂

Table with 2 columns: 講座内容, 各10:30~12:00. Rows include dates and topics like '映画館で歌舞伎を'.

田口章子(たぐちあきこ)

1957年東京生まれ。学習院大学大学院修士課程修了。文学博士。研究テーマは歌舞伎を中心とした伝統芸能。「江戸時代の歌舞伎役者」(中公文庫)で芸術選奨文部大臣新人賞受賞。京都造形芸術大学の公開講座「日本芸能史」をプロデュース。著書に「歌舞伎から江戸を読み直す一歩と情」(吉川弘文館)ほか多数。



第38期(秋期)開講講座のご案内

期間 / 2016年9月～12月 5月25日(水)受付開始

各講座の開催日ごとのテーマは受付開始日以降ホームページに掲載します。

※お申し込みは電話、インターネット、もしくは24ページに添付の専用申込書を郵送かFAXでお送りください。

初回1回のみ(無料)

お試し受講OK

各講座先着10名様

詳しくは事務局までお問い合わせください

好奇心を感動に! 伝統から新たな発見を

Interview
新講師に聞く

草津会場

大津会場 ● 旧大津公会堂 共催 / 株式会社まちづくり大津

38-01 すばらしい日本の伝統芸能

～歌舞伎の魅力にふれる
京都造形芸術大学教授 田口章子 **新講座**

開講日 各10:30～12:00
9月9日(金)・9月23日(金)・10月14日(金)・10月21日(金)・11月11日(金)・11月25日(金)

38-02 江戸のくらしを

古文書と古絵図で発見
京都府立大学・長浜/バリオ大学名誉教授 水本邦彦

開講日 各13:30～15:00
9月9日(金)・9月23日(金)・10月14日(金)・10月21日(金)・11月11日(金)・11月25日(金)

38-03 城が語る日本の歴史

滋賀県立大学教授 中井 均

開講日 各10:30～12:00 ※現地学習1回含む
9月16日(金)・10月7日(金)・11月11日(金)・11月18日(金)・11月25日(金)・12月9日(金)

長浜会場 ● 長浜市曳山博物館 後援 / 長浜市、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団

38-03 城が語る日本の歴史

滋賀県立大学教授 中井 均

開講日 各10:30～12:00 ※現地学習1回含む
9月16日(金)・10月7日(金)・11月11日(金)・11月18日(金)・11月25日(金)・12月9日(金)

38-04 近江の祭礼行事を探る

長浜市曳山博物館館長 中島誠一

開講日 各13:30～15:00
9月16日(金)・9月23日(金)・10月14日(金)・11月18日(金)・11月25日(金)・12月9日(金)

草津会場 ● しがぎん草津ビル

38-05 モーツァルトのオペラの世界

～究極の人間表現
大阪音楽大学理事長・名誉教授 中村孝義 **新講座**

開講日 各14:00～15:30
9月13日(火)・9月27日(火)・10月11日(火)・10月25日(火)・11月8日(火)・11月29日(火)

38-06 『音楽の招待席』

天才たちの奇蹟にせまる120分!
作家・音楽評論家 響 敏也

開講日 各13:30～15:30 ※演奏会参加は別途チケットが必要
9月15日(木)・10月6日(木)・10月20日(木)・11月17日(木)・12月1日(木)・他に現地学習1回

38-07 歴史にみるイスラム世界と

ヨーロッパ
京都外国語大学教授 堀川 徹

開講日 各10:30～12:00
9月2日(金)・9月16日(金)・10月7日(金)・10月21日(金)・11月11日(金)・12月2日(金)

38-08 成安造形大学提携講座

西洋美術入門
成安造形大学教授 千速敏男

開講日 各10:30～12:00
9月14日(水)・9月21日(水)・10月12日(水)・10月26日(水)・11月16日(水)・11月30日(水)

38-09 近世初期風俗画の世界

～日本画の美を鑑賞
大阪大学大学院教授 奥平俊六

開講日 各10:30～12:00 ※現地学習1回含む
9月6日(火)・9月13日(火)・10月4日(火)・10月18日(火)・11月1日(火)・11月15日(火)

38-10 日めぐり万葉集入門

NHK「日めぐり万葉集」に探り

開講日 各14:00～15:30
9月12日(月)・9月26日(月)・10月24日(月)・11月7日(月)・11月21日(月)・12月5日(月)

38-11 源氏物語のこぼれと心

京都橋大学教授 福嶋昭治

開講日 各10:30～12:00
9月20日(火)・9月27日(火)・10月11日(火)・10月25日(火)・11月8日(火)・11月22日(火)

38-12 文学を通してみる

近江の風景
旅行作家 西本那枝

開講日 各13:30～15:00 ※現地学習1回含む
9月6日(火)・9月20日(火)・10月4日(火)・10月18日(火)・11月1日(火)・11月22日(火)

38-13 三大英傑(信長、秀吉、家康)と

その時代Ⅱ
国際日本文化研究センター名誉教授 笠谷和比古

開講日 各13:30～15:00
9月8日(木)・9月29日(木)・10月13日(木)・10月27日(木)・11月10日(木)・11月24日(木)

38-14 古代史を彩る女性たちと

人間模様
滋賀大学名誉教授 小笠原好彦

開講日 各13:30～15:00 ※現地学習1回含む
9月14日(水)・9月21日(水)・10月12日(水)・10月26日(水)・11月16日(水)・11月30日(水)

38-15 花と緑の魅力

甲南大学特別客員教授 田中 修

開講日 各10:30～12:00
9月15日(水)・9月29日(水)・10月20日(水)・10月27日(水)・11月24日(水)・12月1日(水)

38-16 初めての日本画 入門編

日本画画家 清水 豊

開講日 入門編 各10:00～12:30 上級編 各13:30～16:00
9月7日(水)・9月28日(水)・10月5日(水)・10月19日(水)・11月2日(水)・11月9日(水)

※講師の都合で講座日程が変更になる場合があります。ご了承ください。

●受講料 / 1講座全6回で 10,800円(税込。入会金不要) ※現地学習には別途参加費が必要です。 ※「初めての日本画」「日本画を楽しむ」は画材費(約10,000円)別途必要。

●特典 / 滋賀銀行年金受給者の方は受講料金が9,800円となります。また、KEIBUN友の会会員の方は、「3,000円相当の割引」がご利用いただけます。

ただし、各割引の併用はできません。

※原則、定員50名になしたいため締め切ります。お早めにお申し込みください。

特別文化講座 (7月開講)

37418 真田の城を探る
7月13日(水) 10:30～12:00 真田昌幸と上田城
7月20日(水) 10:30～12:00 真田信忠と沼田城
7月27日(水) 10:30～12:00 真田幸村と大坂城真田丸

●講師 / 中井均(滋賀県立大学教授)
●会場 / しがぎん草津ビル
●受講料 / 6,480円(税込) ※年金受給者割引はございません

受講申込受付 しがぎん経済文化センター文化講座事務局 TEL.077(526)0011

17 世紀初頭に誕生し、さまざま
な作曲家が手掛けたオペ
ラ。「中でもモーツァルトの作品には
オペラのエッセンスがすべて詰まっ
ています」と力説する大阪音楽大学
理事長の中村孝義さんは、大学にあ
るザ・カレッジ・オペラハウスの館長を
務めるなど、オペラ分野で最前線に立
つ一人として名高い。

新講座「モーツァルトのオペラの世
界」では、モーツァルトの4大オペラ
「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァン
ニ」「コジ・ファン・トゥッテ」「魔笛」を
掘り下げ、彼が表現しようとした世
界を探究する。特有の恋愛観や作
品に込められた深い意味を知る機
会として興味深い。

「オペラbuffアと呼ばれるオペラ
では、人間の愛や喜び、悲しみを滑
稽さを含めて表現されており、演奏
される機会も多い。一方、オペラセリ
アという歴史や神話を題材にした
オペラは日本ではあまり上演されな
いので、隠れた名作も紹介したいで
すね。天才モーツァルトの壮大な世
界を知っていただきたいからです」

人間の心情を巧みに描く モーツァルトのオペラを探究する

38-05 モーツァルトのオペラの世界

～究極の人間表現
講師 / 大阪音楽大学理事長・名誉教授 中村孝義
会場 / しがぎん草津ビル

講座内容 各14:00～15:30
9月13日(火) モーツァルトのオペラの歴史的位置と意義
9月27日(火) 「フィガロの結婚」を通してみる人間表現
10月11日(火) 「ドン・ジョヴァンニ」は本当に放蕩ものか
10月25日(火) 「コジ・ファン・トゥッテ」に見るモーツァルトの恋愛観
11月8日(火) 「魔笛」でモーツァルトが表現しようとした真意
11月29日(火) モーツァルトのオペラセリアは、面白くないのか

モーツァルトといえば、協奏曲や
交響曲などあらゆる分野で名作を
残している。「彼が最も作曲したかっ
たのがオペラです。人間に非常に強
い関心を持ち、特に心の緩や機械に
敏感な人でした。それらを表現する
最高の手段がオペラだったと考えら
れます」と中村さん。モーツァルトの
音楽の真髄はオペラにあり、そこか
ら他の器楽作品にも影響を与えた。
彼のオペラの世界を知ることによ
り、モーツァルトがもっと身近に感じ
られるだろう。

音楽研究に従事して40年以上：
「中学2年生まで学校教育の音楽
が得手ではありませんでした。高
校受験の前に音楽の先生からお借
りしたクラシックのレコードを聴き、
その魅力に引き込まれました」と中
村さん。また、11月11日にはしがぎ
んホールでの「モセウリアの理髪師」
ハイライトで解説も務める。
全国有数のオペラハウス「びわ湖
ホール」については、「自治体を持つ
ホールとして、これほど高レベルな作
品を上演する施設は日本のどこにも
ない。滋賀県民が大いに誇れること
だ」と太鼓判。オペラにふれる機会も
多くなっているが、この講座での学び
がオペラ鑑賞に一層生きてくよう。

中村孝義(なかむらたかよし)
1948年大阪生まれ。関西学院大学
大学院文学研究科美学専攻修士課
程修了後、ヴェルツブルク大学音
学、音楽美学、西洋音楽史専攻。大
阪音楽大学学長を経て現職に。著書
に「音楽の窓」(カワイ出版)「ペー
トヴェン器楽・室内楽の宇宙」(春
社)など多数。雑誌「音楽の友」レ
コード芸術にて評論活動を行う。